

令和2年11月19日

三次市長 福岡 誠志 様

三次市まち・ひと・しごと創生市民会議  
会 長 伊 藤 敏 安

### 地方創生推進に関する意見書

三次市まち・ひと・しごと創生市民会議設置要綱（平成27年三次市告示第176号）に基づく本創生市民会議は、三次市行政が、第2期三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を審議・検討する過程において、市民ワークショップの意見も反映させながら、4回にわたって会議を開催して意見交換を行いました。

その結果、別添の総合戦略（案）は、本創生市民会議等での意見が反映されており適当であることを、以下の意見を付して報告します。

#### 【意見】

- 新型コロナウイルス感染症の流行もあり、地域社会は大きな転換期を迎えている。先を読むことが難しい状況にある中で、今後も地方創生を推進するためには、このたび策定する総合戦略を評価・点検し、常に磨きをかけながら、今後5年間の市政推進の道しるべとして、活かされたい。
- 中国地方の中央に位置し、交通の要衝である地理的特性や豊富な地域資源を活かし、「一人ひとりの希望を応援し、未来への夢を支える活力ある地域づくり」に向かうことで、人口減少・少子高齢化に歯止めがかかり、ふるさとを未来の市民に笑顔で引き継げる、持続可能なまちとなるよう進められたい。
- 数値目標・KPIについては、より良い指標とするための新たな調査やデータ集計など、策定後もふさわしい指標について検討研究されたい。なお、各指標は、めざすべき数値としてだけでなく、施策実施の励みになる数値としてもとらえていただきたい。
- 人口のことを考えたときには、転入者を増やすことも大切であるが、現在住んでいる人が、三次市に魅力や誇り、楽しさなどを感じて、その思いを発信しながらずっと住み続けていくことが何より大切である。住んでいて楽しく充実した日常生活が送れるという観点での取組も進められたい。
- 結婚、出産、子育てを希望する人の支援にあたり、誰もが三次市は暮らしやすいまちだと感じてもらえる取組を進められたい。

- 「田園都市×デジタル」により，どのような地域になるのか将来像を描きながら市民に情報発信し，デジタルを活用して市民の暮らしが豊かで便利になるよう，まちづくりを進められたい。
- 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う地域経済，生活の支援や誹謗中傷への対応については，適切に進められたい。
- 以上のほか，市民会議委員からの具体的な意見，市民ワークショップでの意見，パブリック・コメントなどについても十分に検討され，地方創生の取組を進められたい。

三次市まち・ひと・しごと創生市民会議 委員

No.	区分	氏名	団体名等	職名
1	産	佐藤 明寛	三次商工会議所	会頭
2		林 昭三	三次広域商工会	会長
3		鷲尾 操	三次農業協同組合	代表理事専務
4		政森 進	一般社団法人三次市観光協会	会長
5	官	庄司 俊介	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	所長
6		田高 和子	広島県北部保健所保健課	課長
7	学	伊藤 敏安	広島修道大学国際コミュニケーション学部	教授
8		田中 貴宏	広島大学大学院先進理工系科学研究科	教授
9		西本 寮子	県立広島大学地域創生学部地域創生学科	教授
10	金	稗田 貴章	三次金融協議会幹事	(株)広島銀行十日市支店長
11	労	原田 延明	連合広島備北地域協議会	副議長
12	言	榎原 祐美	Lupine (カップマ編集事務所)	代表
13	士	前田 奈美	備北ひばり法律事務所	弁護士
14	住民自治	中川 哲和	三次市住民自治組織連合会	副会長
15	医療	安信 祐治	三次地区医師会	理事
16	起業	藤田 三津恵	カフェクラスメイト	オーナー
17	子育て	貞近 景子	三次市保育所保護者会連合会	会長
18		石橋 太詞	三次市PTA連合会	会長
19	福祉	麓 知子	社会福祉法人三次市社会福祉協議会	理事
20	女性	島田 真由美	国際ソロプチミスト三次	会員